

気まぐれ通信

平成29年4月10日 第80号

発行者 有限会社津口ファーム鶏卵部

IECビジネス会議 モナコで開催

国際鶏卵委員会（IEC）ビジネス会議が、4月2日3日4日の3日間世界で2番目に面積の小さい国モナコであり、広島県養鶏協会の一員として出席してきました。

この会議は、毎年春と秋の年2回開催されています。今回で2回目の参加となりました。



会場となったルメリディアンビーチホテル

世界から200名以上の養鶏関係者が集まり、大学教授、病理研究者、関係団体代表などが講師となり「鶏の飼料栄養について」、「鳥インフルエンザの世界の状況と防疫」、「鶏卵加工産業」、「鶏卵消費促進」などについて聴取してきました。その中で身近で興味ある話をご紹介します。

フードトレンド

欧米では、ベジタリアンになったわけではないが、消費者の関心は、植物性たんぱく質に移行。

肉が食事の中心だったが、最近の子どもは中華やパスタを好むようになっていいる。肉の代替品が増えている。匂いも味も感触も肉に見えるが肉が入っていない食品 ミートボールやチキンもどきの食品（インポッシブルフード）



子どもたちに野菜を食べさせたい（野菜をパスタのようにして販売している）

植物性マヨネーズ（豆中心で卵は入っていない）

たまごの売り場

ヨーロッパの卵の売り場は最低 客に夢を与えない
アジアの卵売り場は、劇場版で華やかさがある。

卵は食肉ではない？

卵は、植物性か動物性か、消費者がどう考えるかの違い。メキシコ人は、卵は安くて良質なたんぱく源。オーストラリア



の医療機関では、卵は体に良いと言われている。その根拠は、脳卒中に効果的という結果が出ている。スーパーフード（よい食品）インドパキстанは消費が伸びている。インド人が1人1日1個食べたら13億個増える。

感覚を使つてのマーケティング

人の感覚を刺激する陳列、店でどのように音を反映させるか。音によってイメージが変わる。

見る、音、触る、匂い、味覚を利用していく。

売り場で鶏の鳴き声を聞かせると卵に注目が集まる。サウンドトラックによってアイスクリームの味が変わる。パッケージの色を変えたら卵がおいしく見える。暗い色のものを下に並べて明るい色を上陳列すると消費者は、受け入れやすくなる。

パッケージにスマイルを入れるとイメージが変わる。

革新的な鶏卵製品

ベビーミルクに卵を使う研究

アレルギーにならないためには

生後4か月から6か月の間で卵を

食べるとアレルギーになりにくい。卵黄は、なるべく早く食べさせた方がいいという意見が出てきた。



【編集後記】

複数の講師が話したことを同時通訳を通して聞いたことを走り書きしたメモからピックアップしてみました。わかりにくいことをお詫びします。メンバーにマスコミの人も来ていたので後日この会議内容が新聞掲載されるものと思います。その時ゆっくり確認をさせていただきます。モナコでもカーブの勝敗が気になりユーチューブで結果を見て喜んでました。

サンフレッチェもガンバに勝って初勝利！ホッ！